

ウソをつくということは何なのだろうと時々考える。

心にあるものは嘘をつくことを見抜いてしまうのだが、それでも一生懸命に頑張ることは嘘を消し去る行為だと誰が言ったのだろうか。

いろんな考えがある中、そんなことを思い出すのは決して不思議ではないのだろう。

最も、嘘をつくということは自分には都合のいいことを行いたいと思うからだろう、決して得をする行為ではないのだから。

そんなことを考えても意味がないことぐらいはわかつているが二つとも思えないときはなく、一人で考えることはどこか遠い想いを馳せるかのようにも思えるのが不思議だった。

何も無いと言えば早いのだろう。何かがあつたら、嘘をつくことになる。結果、人は傷つく。何もしないから人は傷つかず恐れない。だが何かをしない始まらないことを知った人は傷つくことは必ず必要だと知っているから考えるのだろう。

だから私がこのことを考えることはたいして不思議なことではないのだろう。

きつとそんなことを考えているということが不思議ではなく、私がこれからもこんなことが続くようにと願ってしまうことにも何も嫌な思いはない。

これから私は旅立つ。どこに向かつてても意味がないのだからと思いながら、異世界へと行つてくる。

考えることは大切だ。人に向かつてそんなことを考えているのだと教えてあげること大切

なのだ。

だから、私はこれが考えていることだと伝えることが面白いのだ。

ウソをつくということは誰だってできる。そのことを不思議がるだろう。受け取る側は何をすればいいのかわからないのだから。

だけど、その人もウソをつく。そう、自分に都合のいいように。きつと誰でもそんなことをするのだろう。

だから、考える。だから、教える。だから、ウソをつく。

きつと、私はそれを続けるために。

考え続けるのだろう。

さあ、異世界に行くということはあなたにとってはどちらになるのだろうと思うと心が躍る。異世界がウソなのか嘘なのか。でも、確実に言えることは。

あなたは何かウソか気付きましたか？

さて、私は異世界に行つてこようと思います。

これから、どんなウソについてみようかと思うと、心はドキドキしてしまうことが私にとつて、今でも。

ウソをつくことなのです。